

## 要 旨

### 試験委託者

環境省

### 表 題

p-Octylphenol のメダカ (*Oryzias latipes*) に対する初期生活段階毒性試験

### 試験番号

E E L 0 0 0 0 2

### 試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドライン No.210「魚類の初期生活段階毒性試験」(1992 年) に添って実施した。

- 1) 被験物質 : p-Octylphenol
- 2) 暴露方式 : 流水式 (定量ポンプを用いる試験装置を使用)
- 3) 供試生物 : メダカ (*Oryzias latipes*)
- 4) 試験濃度 : 対照区, 助剤対照区 (助剤濃度: DMF 100 $\mu$ L/L) , 0.0046, 0.010, 0.022, 0.046 および 0.10mg/L、公比 ; 2.2
- 5) 暴露期間 : 43 日間
- 6) 試験液量 : 5L/容器
- 7) 供試生物数 : 60 個体/試験区 (20 個体/容器 $\times$ 3 連)
- 8) 連数 : 3 容器/試験区
- 9) 照明 : 室内光、16 時間明/8 時間暗
- 10) エアレーション : なし
- 11) 試験温度 : 24 $\pm$ 1 $^{\circ}$ C
- 12) 分析法 : HPLC 法

### 結 果

- 1) 43 日間の最小影響濃度 (LOEC) : 0.0077mg/L
- 2) 43 日間の無影響濃度 (NOEC) : 0.0033mg/L  
(上記濃度は、全て測定値に基づく値)